

平成23年度 第3回

川合市長と語り合うタウンミーティング

～ 川越市の文化振興 ～



日時：平成23年7月21日（木）

午後6時30分～8時00分

場所：市民会館第2・第3会議室

参加者

川越市文化団体連合会、川越美術協会の皆さん 26名

出席者

市長、宍戸副市長、市長秘書、市民部長、文化スポーツ部長

意見数

分類	件数	内容	頁
教育・文化・スポーツ	37	市民文化祭の期間	3
		市民文化祭の広報活動	3
		市民文化祭の会場確保	3
		美術展覧会を1回開催に	5
		美術展覧会の開催会場	5
		農業ふれあいセンターを森の美術館風に	6
		美術館の拡張	6
		ふれあい拠点施設の新ホール	8
		ふれあい拠点施設計画について文化団体と意見交換を	8
		新ホールのオーケストラピット	10
		小ホールの設置	10
		新ホールの楽屋	10
		新ホールの舞台	11
		投句箱の設置	12
		文芸作品の募集事業	13
		川越の歴史の保存	13
		中央公民館の拡張	14
		ふれあい拠点施設の使用料	15
		新ホールの映像機器	15
		新ホールの名称	15
お茶会の会場	16		
生け花展の会場	16		

分 類	件 数	内 容	頁
教育・文化・スポーツ		市民文化祭の周知を早期に	16
		ふれあい拠点施設の規模	18
		ふれあい拠点施設の使用料	18
		国際的な芸術活動に援助を	18
		芸術・文化活動の予算配分に工夫を	18
		公共施設の使用時間	19
		茶室の設置	20
		新ホールの舞台	21
		美術品の展示スペース	22
		ふれあい拠点施設の運営方法	24
		ふれあい拠点施設の概要	24
		ふれあい拠点施設の使用料	24
		皆が誇れる川越市	25
		どのように若者を文化の中に取り込んでいくか	26
	川越のオペラ	26	
都市基盤・生活基盤	2	市役所を起点としたバス路線の拡充	6
		初雁球場	23
産 業 ・ 観 光	1	まつり会館の無料開放	23
地域社会と市民生活	2	映像編集機材の設置	15
		市役所の掲示板	22
行 財 政 運 営	1	市民会館の跡地	23
計	43		

意見交換（要約）

《市民文化祭の期間、市民文化祭の広報活動、市民文化祭の会場確保》

意見 川越市文化団体連合会の会長をしております。合唱連盟の会長でもあります。先日、総合開会式ではいろいろありがとうございました。今までよりも大きく一步進んだのではないかなと思っております。あれが実施できたことによって大きく進んでいるのではないかなというふうに思っております。本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。

これから川越の文化を盛んにしようという思いで日ごろ携わっているわけですが、ほかの市町村、ほかの県の文化の活動を見えますと、期間を限って、例えば1カ月の中にすべての行事を入れてそこで発表するとか、10日間の中に合唱祭とか、いろんな催し物がどこかで何か行われているという形を組んでいるところが意外とあるわけですね。

ところが川越は、大体秋の文化祭というふうに始まって、長い期間にわたって開催しているわけですね。そうすると集客にも影響してきまして、いつ、何を、どこでやるんだろうという感じになりまして、これからはぜひ川越市としては、川越市民会館の利用が非常に難しいということはよくわかっているのですが、ある程度期間を限って、2週間なら2週間とか、3週間なら3週間の中にいろんな文化団体が発表していく、だから美術協会のほうの展示も同時に美術館で行っていくとか、そういうふうな期間を限ってやっていただいたほうが私はいいいのではないかなというふうに思っているんですね。

非常に難しいのは、例えばサツキというのは時季が限られているんですね。そこに合わせた行事と秋の行事というふうに二手に分かれるのかなとは思いますが、そういうふうな形がこれからできてくると、より市民に知れ渡ると思うんです。

それからもう一つは、広報を通じて、市民にこういうことをやっていると、こういう催し物がありますという広報活動をもう少し充実していただくと嬉しいなというふうに思います。まだ中途半端で、不十分なので、はっきりした大きなポスターをつくるとか、チラシをたくさんつくって配るとかいう形ができてくると、もっとよりよい文化祭の発表会ができるのではないかなというふうに思います。

今年の大きな進歩は、美術協会と文化団体連合会と一緒にできたということは大きな進歩だというふうに思っています。これから市民に文化に興味を持っていただくには、そういうやり方がどうだろうなという思いであります。

ちょっと長くなりましたが、これから新しいホールができるということで、今度はそこを中心にいろんな催し物が行われるのではないかと思いますので、その時こそ、ある程度期間を限って実施できるように、今からその準備ができていけばいいなというそんな思いです。

そういうことでいきなりお願いみたいなことを申し上げまして申しわけなかったのですが、そういうことですね。以上です。ありがとうございました。

川合市長 川越市は最初から、市民文化祭というのは比較的長い期間に渡ってやっているというスタイルだったのですか。

意見 いろんな団体がありまして、いろんな団体がそれぞれバラバラにやっていたらいいんですよね。文化団体連合会という連合だけをつくったのですが、なかなかそれがまとめられなかったんです。僕が会長になってからできるだけまとめようと思ったのですが、なかなか市としても難しいと、特に市民会館を独占してしまうというような、ホールを独占、会場を独占してしまうのは非常に難しいという話でありました。

川合市長 すべてのイベントを一つの時期にまとめてしまうというのは、それは難しいでしょうけれども、集中する時期をつくって、あとはパラパラとやっていく、そういうのも一つのやり方としてあり得るような気がしますね。それはやっぱり会場が問題なのでしょうか。

文化スポーツ部長 文化団体は数多くございますので、それぞれの団体がそれぞれの催し物としていろいろな時期に考えてやっているというのが事実だと思うのですが、それを一つにまとめるとしても、全部まとめることはなかなか難しいでしょうから、先ほど市長が言ったように集中的にやる時期と、あとは時期を分けてやるものという形にすべきですね。貴重なご意見なので、できるだけ市民の方々が、例えば10月のお祭りが終われば今度は文化の週間になって、どこへ行っても何かしらやっているよと、市民会館へ行っても、やまぶき会館へ行っても、南文化会館へ行っても、西文化会館へ行ってもやっているというような形で、そういうものが定着すれば、より市民の方に文化に対して興味、関心を持っていただけますので、来年以降の課題として取り組ませていただいて、新ホールができたときには、実際にそれが実現するような形をとらせていただければ一番いいのかなと聞いていて感じました。

意見 ここにお茶の先生がいらっしゃるのですが、丸広を借りて2月の終わりにお茶会をやっていますね。お華の会もそうですね。借りる身にとってみると、こちらの定期的な要求がそうは言えない。今度は設備というか、そういうところからも影響してくるのかなとは思っていますよね。

文化スポーツ部長 今、市民会館は11カ月前の抽選という形になってしまっていて、市で押さえると、ほかの市民の方々から苦情が出るということがありますので、その辺も踏まえた中でできるだけ苦情が出ないような形でのやり方が見つければいいのですが、なかなかこちらを立てるとあちらが立たずという難しい面もありますので、そんな中でいろいろ考えていきたいと思えます。いろいろアイデアをいただければなと思えますので、よろしくお願いいたします。

意見 美術協会は美術館というのがありますから、ある程度自由になるのかどうか、それはちょっとわかりませんが、いろんな会がありますから、菊は喜多院でやるとか、盆栽は産業文化でやるとか、いろんな会場を使っていますから、なかなか難しいのかもしれないですけども。

川合市長 市民文化祭というそういうポスターは、今まではつくってないですよ、市民文化祭そのものの。それはやっぱり期間的に長くやっているから、一時期ポスターを張り出して人を集めるというのに向かないというか、余りそういう方向への考えがなかったということが理由でしょうかね。

文化スポーツ部長 29ぐらい団体がありますよね。

意見 ありますね。

文化スポーツ部長 29の団体の内容をポスターに入れるとなったら、もう文字だけになってしまうし、なかなか難しいですよ。

意見 それに期間が一緒ですからね、今は。

川合市長 2週間なら2週間、その集中期間みたいなものを設ければ、その期間のためのポスターというのはできると思うのですが。

文化スポーツ部長 例えば来年の話で、2週間をやる団体さん、手を挙げてくださいというやる団体さんがあれば、その後、ポスターをつくってやるということも考えられますので。これは市のほうの宿題でもありますし、文化団体連合会の宿題でもあるのかなというふうに思いますけれども。

意見 特にいろんな種類が、川柳とか短歌とか、そういうものまで入ってきますし、盆栽だ、水石だ、いろんな展示物も入ってきますし、難しいことは難しいと思えますけど、その上、季節的なものが入ってきたら非常に難しいかなと思っています。

川合市長 貴重なご意見をありがとうございます。

《美術展覧会を1回開催に、美術展覧会の開催会場》

意見 洋画・彫塑をしております。川越の町で市の美術展が始まって今年は60周年な

んですね。川越の歴史というのは、昔、商家が絵師を抱えたように、あるいはいろんなそういう作家が出たということで、そういうものを結集してきたという歴史もあるし、非常に絵を描く人も多いし、今いろいろな分野の人たちもたくさんおりますけれども、某方向からいつだったか、川越市展を一度にできないものかという話が出てきたんですね。それは美術関係の常設展ということで、外部の人たちの、それを切るといことはできないと思うんです。

そのためには、ご存じのとおり相原求一郎記念室があるわけです。そういうものもあるし、下の常設展示室は企画展でも使っているし、それは開放してもいいのではないかと僕は思うんだけど、でも、一度にやるということのそういうきっかけというのは、60周年でできたらいいのかなと思う部分でもありますけれども、その絶対数をその壁面に飾るといことは、展示空間としてかなり問題というか、そうすると美術館だけでは無理だと思うんですよね。

それには隣の博物館へ行く廊下の照明を何とか考える、向こうの展示空間を考える、あるいは近くの中央図書館を考える、昔はこの市民会館の廊下にパネルを立ててみんなでやったものです。一度にやるとしたら、もうちょっと街の中に点在させるということも、一つの方法ではないかというふうに思います。その話はもう立ち消えになったんですね。

文化スポーツ部長 実は昨年から美術展覧会は1回でやってくださいという要望がございました。2回開催ではなくて、分けてやるのではなくて、1回で同時にやらせてくださいという要望がありました。それを受けまして60周年、60回記念ということで、今年の5月に美術協会さんとお話を持ったということを私は聞いております。その中で、やはり常設展なり相原求一郎の展示スペースを開放したとしても、ちょっと出品点数からすると無理で不可能らしいのです。

というのは、美術協会のご意見ですと、提出された作品についてはすべてを展示したいと、その中で優秀な作品だけを展示して、例えば1,000点しか展示できないところに、1,200点の応募があったとしたら、200点は落とすということにすれば可能だと思うのですが、美術協会としてはなかなかそれを切るのは難しいというお話がありました。応募されたものについてはすべてを展示したいお考えだというふうに聞いておりますので、そうしますとなかなか1回で開催することは難しく、今年の話し合いをした中で、最終的に今年も2回開催しようという結論になったと聞いております。

《農業ふれあいセンターを森の美術館風に、美術館の拡張、市役所を起点としたバス路線の拡充》

意見 私は川越美術協会で写真を担当しております。たまたま60回の記念展ということで、じゃあ一度に開催したらどうかというお話し合いになったわけなんですね。その中で美術館が狭い、小さいというか、市民ギャラリーとして開放されているのは狭い、じゃあ下の企画展示室のほうを少し開放してくれればできるという形だったんですけども、一度に開催するのは難しいということで、じゃあちょっと見送りましようというのがお話し合いだったと思うんです。

60回にこだわらず、後で工夫や、あるいは皆さんのご協力を得られれば、今のお話の中にもあったように、やはり場所を借りて少し点在してもいいかなと、そういう工夫をやっていければ恐らく1回でできるかなと思います。

ただ、各部の足並みがまだ揃ってなくて、一度でなくてもいいんじゃないかということで結論には達したわけなんですよ。60回はしょうがないけど、ただ、市制90周年がありますし、100周年もあるわけですから、ある程度それにも向けて工夫していけばできるんじゃないかと思っています。

私は、伊佐沼の農業ふれあいセンターを美術館というか、この間の開会式のときにお話をしたんですけども、森の美術館風にしていただいて、レストランを併設して、市民に開放してくれると嬉しいなと思います。あそこの場所がかなり広いので、開放していただけるといいかなという希望を持っています。

それと、川越の場合は花の公園が少ないので、そういうふうなものも含めて、全体的にここ5年、10年で見直していただいて、美術館を今は狭いですからもう少し広くしていただくなり、第二美術館なりをつくっていただいて、一度開催ができるようにしていただければ嬉しいなとは思っております。60回展の今年や来年でできなくても、4、5年後にはやっていただくと嬉しいなとは思っております。

文化スポーツ部長 引続き検討課題とさせていただきます。

意見 そうですね、検討課題で結構です。

文化スポーツ部長 先ほど言いましたように美術協会さんのほうも一つにまとまっていないという部分もありますし、市側と美術協会さんと意見交換しながら、市民レベルでというふうに思いますので、よろしくをお願いします。

川合市長 今のご意見は、農業ふれあいセンターのあの建物を森の美術館みたいにしてほしいというご意見ですか。

意見 用途がまた違ってくるでしょうが、していただくと嬉しいなと思っております。ただ、あのふれあいセンター事業みたいなものが違うところに、例えば今福のほうにできるとか、伊佐沼だけではなくもう少し、田んぼの中にあるのではなくて、畑

の中にふれあいセンターがあってもいいかなと思うんです。そしてあの後ろ側の農地が開放されて、皆さんつくっているかと思うんですけれども、元は田んぼだったのでしょうけれども、どちらかという畑のほうが適地でいいかなとは思っています。

それと、全然話が変わりますが、市役所に来るときにバス等の交通機関がイマイチ整ってないような気がしたので、市役所を経由して行けるようなバスが頻繁に出ているようなまちづくりをしていただきたいなと思うんです。そうすれば美術館なり博物館が少しでも近くなるんですね。今の状態ですと、博物館とか美術館に行くのにちょっと不便なような気がするんですね。ということは市役所あたりを起点にバスが行き交っていたら、もう少し文化施設が利用できるような、バス会社の都合もあるでしょうけれども、前の通りが広くなりましたので、あそこもバスがうまく通れるような形にしていればいいかなと最近思うようになりましたので、よろしく願いします。

川合市長 今美術館、博物館方向には駅からイーグルバスと、それから東武のバスも出ていますよね。私は乗ったことがないからどのくらいの間隔で出ているのかわからないのですが、本数は結構少ないのですか。

意見 日常的に市役所あたりを経由するようなバスが通れば、市役所へ来るのに、わざわざ一番街でおりて歩いてくるケースが多いんですよね。そういう意味でも川越市役所あたり経由のほうがわかりやすいかなとは思っています。

《ふれあい拠点施設の新ホール、ふれあい拠点施設計画について文化団体と意見交換を》

意見 うちオーケストラをやっているんで、たくさんの方が舞台上にのるわけです。そしてオペラとかバレエ音楽とかをやるときには、今度はオーケストラピットに入ってやったりするわけです。そこで、今のホールには期待してないんですけれども、今度西口に新しいホールができますよね。それにものすごく期待と興味を持っているんですけれども、見え隠れして計画がよくわからないんですよ。もう計画はあると思うのですが、私たちの場合はたくさんの方が舞台上にのりますから、去年は第九をやりましたけれども、舞台上に200人以上のるんです。とても今の市民会館ではのらないので、せり出しを前につくったりして苦労してやっていました。バレエとかオペラとかをやるときはオーケストラピットといって、舞台の下にオーケストラが入ってやるんですけれども、そういうこともちょっとできないので、次のホールには本当に期待をして、興味を持ってじっと待っているんですけれども、計画が見え隠れしてよくわからない。

そこで、途中で市長さんもかわられたので、計画がまた変わったんだと思うんですけども、こういうものをつくるよとって、できてしまってからでは遅いので、その計画の段階で、文化団体の皆さんにもう一回、こういうのをつくろうと思っているんだけどどうだろうという形で打診していただきたいんです。それで、ここはこういうふうにやったほうがいいよというのを参考にしておついでにいただかないと、一回つくと、もう何十年もそれを使うことになるわけです。

これは演奏会場によってですけども、特に参考にさせていただきたいのは和光市民文化センターサンアゼリア、それからこの前ちょっと地震で天井が落ちてしまいました。川崎市のミュージアム川崎、所沢市民文化センターミュージズ、あとは与野の芸術劇場、古くは練馬の文化センター、このあたりをよく見て参考にさせていただいてつくってほしいんです。

ところで、今はどこまで計画が進んでいるのでしょうか。

川合市長 私が承知しているのは、1,700席ほどの多目的ホールをふれあい拠点の建物の中に市の施設として入れ込むというその程度で、具体的にどういう形の、どれぐらいのオーケストラがのれるような舞台を持ったホールなのかどうかとか、ちょっとその辺は把握してないのですが、これから設計するのでしょうか。

文化スポーツ部長 実際には設計業者が決まりまして、今は基本設計で、年内には実施設計が終わるという予定でございます。かなり詰まっているというか、結構詳細にわたって決定している事項が多いみたいです。私のほうも今おっしゃったようにできるだけ使用する方々とキャッチボールをしながら、詳細についていろいろな要望を聞かせていただいて、その仕様の中に入れていきたいなというふうに思っているのですが。

以前に、PFIでやるということが固まっております。その時点で仕様を詰めてしまっているという段階らしいのです。ですからそれをもとに基本設計、実施設計と進めて、年度内には設計を終わらせて、来年度から工事に入ろうという形でやっておりますので、ご要望のあったとおり、いちいち第九をやるのに舞台をつくって、また終わったら撤去するというようなことをやりますと、非常に無駄になりますので、市民会館の代替施設ということで劇場型のホールですけども、新しい施設ですから、今よりも音響も照明も舞台装置もはるかによくなると思いますけれども、細かな要望事項につきましては、余り今から聞くことはできないような状況だということは聞いております。

私としては、早く行き過ぎているのかなという気がするのですが、今まで遅

れた分を走っているような気がしないでもないのですが、とりあえず今は、26年度中にオープンという話は聞いております。

《新ホールのオーケストラピット》

意見 オーケストラピットは、最初の設計のとき僕は随分強くお願いしました。で、それは入れてくれているという話は聞きました。

文化スポーツ部長 それはまた確認してご回答を申し上げます。

《小ホールの設置》

意見 そうですね。それでもう一つ、私のところに話があったんですが、小ホールにしてほしいと、大会議室があって、それを小ホールのかわりにという話がありました。今は中ホールとしてやまぶき会館がありますね。もっと小さい300ぐらいの小ホールが中がないと非常に困るというんです。というのは市内のピアノの先生とかが、ちょっとした小さい発表会ができないかということで、なぜ小ホールをつくってくれないだろうという話がありました。ですから小ホールをぜひ、これは強い要望で出さないといけないかもしれないけれども、設計の中に入れていただけたらというふうに思います。

文化スポーツ部長 今手元に概略の図面を持っているのですけれども、1階のところに大ホールがあって、その横に県の施設ですけれども多目的ホールというものがございまして、多分それが先生の言っている練習場みたいな、小ホールという形になると思います。

意見 それを小ホールのかわりにしてくれという話じゃないかと思うんですが。

文化スポーツ部長 そういうふうな形で要望が入ってございます。市民活動支援施設がございまして、生涯学習施設ですが、その中にもいろいろな会議室とか用意してございます。そこは会議がメインになりますけれども、一番広い会議室で160平米ありますね。

意見 この中にも小さいホールがほしい団体がいるんじゃないですか。

意見 それは舞台はあるんですか。ただの部屋なんですか。

文化スポーツ部長 そこまでは今この図面だけではわかりませんが、多目的ホールですから、当然舞台がないといけません。その舞台についても確認します。

《新ホールの楽屋》

意見 それで楽屋はどうなっているのでしょうか。オーケストラとかバレエとかをやる控え室がすごく広く要るんですね。今の市民会館だと全然入らないので、この会議室で着替えをして、それで舞台の外を歩いて裏から入っているんです。雨が降る

と客席を通らなければいけないので、そういうことはないでしょうか。

文化スポーツ部長 今この図面を見ますと、大きな楽屋が2つ、中型楽屋が2つ、小さい楽屋が5つありますね。

意見 大きな楽屋というのはどれぐらいの広さでしょうか。

文化スポーツ部長 幅9メートルですから、この半分ぐらいですね。詳細な図面でなくて申しわけないのですが。

意見 それは、例えば楽屋はそれであっても、ほかのこういう広い部屋と事務棟みたいな形につながっていたりとか、そういうことはありますか。もしそれでも足りない場合にどこかにつながっているというような。

文化スポーツ部長 2階から入る形を考えているみたいですが、2階には先ほど言った生涯学習の支援施設の部屋が全部で十幾つあります。1階のほうは、これは公民館としての会議室もございますので、会議室はかなり、ちょっと階がかわる部分がありますけれども、20部屋ぐらいはあると思います。

意見 そこはお客さんの目に触れないところを通して舞台の上に行けるのでしょうか。

文化スポーツ部長 そこまでは今わからないですね。楽屋は舞台の裏ですから、さっき言った大きな楽屋2つ、中ぐらいが2つ、小が5つありますので、それは大丈夫ですけれども、ほかのところはちょっと難しいのかなとは思いますが。ただ、リハーサル室が2階にございますから、リハーサル室と市民活動支援施設はつながっております。ただ、多少、一般の方の目に入るような形になるかと思えます。

《新ホールの舞台》

意見 市内で行われているバレエスタジオの先生なんかは、今の状態だと全部市民会館では入れ切れないので、市外の舞台を使っているんですね。せっかく川越に市民会館がありながら、今はほとんどの先生が和光とかそっちの舞台を使っているんで、多分市民会館の使用はバレエに関しては減っていると思います。また同じような感じだと、結局みんなまた外の舞台を借りなければいけない状態になるので、もうちょっと考えていただければと思います。

文化スポーツ部長 できるだけ早い時期にホールについては、私より詳しい者がいますので、実際にお話し合いを持ちながら、皆さんの要望をできるだけ多く入れるような形の会を持ちたいというふうに思いますので、またそのときには文化団体連合会さんのほうにお話をし、関係団体さんを集めていただいてそれでやるという形によるのでしょうか。できるだけ早い時期に、ぜひお盆前には開催したいと思います。

市長秘書 今夜のこのタウンミーティングという枠組みの中で全部施設についてご説明をするのは限界がありますので、今、部長のほうで別途設定すると言っていますから、それにご期待いただければと思います。

意見 ありがとうございます。

《投句箱の設置》

意見 舟橋市長のときだったと思うんですが、川越市内に俳句の投句箱を何カ所か設置するというので、生涯学習課さんを窓口にしてたしか2回ぐらい話し合いを持たせていただいたんですよ。ですけれども行き詰まって、その話が立ち消えになってしまったんですね。

というのは、今の川越の年間の観光客は600万人、俳句人口が日本全国で約800万人といわれています。ですから600万人の観光客の中には相当数俳句をやっておられる方がいるんじゃないか、来ているんじゃないかと思うんです。観光地を見ても、投句箱を設置している観光地がすごく多いんですよ。600万人の観光客があって、そういうものが設置されてないというのは、私たちとしてもちょっと不思議な感じもするんです。

とはいっても、第一に、投句箱を設置するといっても、雨に濡れないようなものじゃないといけないわけですね。投句用紙ももちろん設置して、そういうものが雨に濡れてしまうと字が書けませんので、そういうものを投句箱の下か何かにしておくような工夫も必要ですし、ぐらついて倒れるようなものでは危険なので、ちょっと堅固なものを設置しないといけないと思うんですよね。

あとは、投句されたものをだれが回収するのかという問題もありますし、回収したその投句作品を、それでおしまいというわけではなくて、投句された方に、年に少なくとも3回ぐらいまとめて、作品集をお送りするというような作業もあるわけなんです。

試算したところ、一基設置するのに5、60万かかるわけなんですね。私としては少なくとも市内に3カ所ぐらいは設置しなければならないのかなと思うんですけれども、そんなことでまた話し合いをぜひ進めさせていただければと思っているんですけれども、その辺の検討をよろしくお願ひしたいと思います。

文化スポーツ部長 持ち帰って言いますので、連絡をさせていただきます。

市民部長 あとは、市民部のほうですが、今、市民の皆様と協働で事業をしましょうというような制度がございます。句会ですとか、吟行されている方はいらっしゃると思うのですが、おっしゃられたとおりだれがそれを批評して、だれがどういうふう

な集約をするかというのは大変難しいことだと思うのですね。ですから句会さんのほうと市が一緒になってやりませんかというような事業を、市民活動支援課のほうで提案型の事業を受けております。ですから、皆さんと市が一緒に協働事業をやりたいというようなご提案をいただいて、それが審査会のほうを通る通らないという話はあるのですが、そういう方法もございますのでお考えいただければと思います。

《文芸作品の募集事業、川越の歴史の保存》

意見 川越ロータリークラブ、それから山車のこと、神社のことなどいろいろやっておりますので、話がちょっと広くなると思います。

実は今のお話なんですが、四国の松山城には投句箱があって、来た方に俳句を書いてもらって、投句箱に入れてもらうような事業を四国の松山は毎年やっているようです。

それから、これはこの間手に入れたんですけども、栃木県の足利市で90周年の事業として小説から随筆、俳句、短歌を募集しておりました。これは先月いっぱい締め切ったんですが、これは市内の人だけではなく、観光客やすべての人にそれに応募していただくようにパンフレットを配って、私は見本に一つこれを持っておりましょけれども、これを参考にしていただければと思います。

それから、10年ぐらい前から、飛騨高山では川柳あんどんといって、毎年7月20日から8月20日まで川柳を全国から募集して、入選句をあんどんに書いて、それを一軒一軒の各商店の店先に全部並べて、観光客やそこに来られた人に見ていただくという事業を毎年やっているようです。

そういう飛騨高山のこと、それから足利市の90周年の文芸作品の募集事業、さらには松山城の投句箱、私も「文芸川越」の川柳のほうを担当しているんですが、市内の人ばかりではなく観光客も含めてそういう作品を募集するのも一つの手かなというふうに思っております。その点については、来年、川越市は市制施行90周年ですから、その90周年に向かっていろいろ検討していただけたらいいのかなというふうに思いましたので、ちょっと申し上げました。

それから、話は外れますが、この間も市民の方に言われたんですが、川越の古いことについて、川越は来年90周年になりますけれども、昭和一桁の川越のいろんな状態を知っている人というのがほとんど今いなくなってしまったわけです。大正生まれや昭和の初めの人なんかはもう。例えば川越のチンチン電車とか、中央通りには、あれは昭和一桁で、あそこがふさがっていたということを私は目で見て知っておりますけれども、そういう人がだんだん少なくなってしまったわけです。そういう古いことを

大事にするためにも、ケーブルテレビでも、またほかの方法でも、そういうことを知っている方に集まっていただいて、文化的なこととともに川越の歴史ということで、我々がそれこそいなくなる時代にはわからなくなってしまうから、そういうものを保存していただくのも一つの川越の歴史のためにいいのかなというふうに思いましたので、ちょっと申し上げました。

川合市長 いろいろご提案をありがとうございます。今のお話の川柳などを並べるとするのは、観光地に、屋外に並べるのですか。

意見 そうです。商店の店先にあんどんを並べていくんです。例えば一番街のようなところに、一軒一軒違う川柳を書いたあんどんをその作者の名前を入れて飾るわけです。氷川神社で暮れから1月の6日まで献灯をやりますが、あれと同じような形で、あれを一軒一軒商店ごとに並べていくわけです。ここに参考のものがありますのでおいてまいります。

《中央公民館の拡張》

意見 中央公民館についてお聞きしたいと思います。いつも私どもは月3回くらいお借りしているんですが、希望の日はほとんど借りられないで、借りるのがいつも大変なんですね。今はたまたま文化振興課のほうで文化祭のことを話し合うとか練習するとかでお借りできているので、希望日を10月までは借りられるのですが、中央公民館をもっと大きくするとか高くするとか、そういう予定は全然ありませんでしょうか。なかなか希望の時が取れないんですね。係の人がいつも一生懸命やってくれているんですけれども。今はお陰さまで10月までは文化振興課にお願いして大体予定のところは取れているんですが、その後は、理事会とか会員とか決めるのにも、予定の1カ月前にお借りするので、もっと場所があれば、部屋がいっぱいあればいいなという会員の話をよく聞くので、そういうご予定はないでしょうか。

川合市長 今のところ、中央公民館の建物を拡張するとか、そういう予定はないですね。予約システムとか、そういうソフト面を変えることはできると思うのですが、部屋数を増やすとかは今のところはそういう予定はないですね。

意見 場所も、私どもは車に乗る人は余り多くなくて、自転車とかで来る人が多いので、余り遠くへ行ってしまうと行かないんですね。だからこのあたりが一番いいなという話が会員からもあるんですね。

文化スポーツ部長 ちょっと遠くなりますけれども、先ほど西口のホールの話が出ましたね。西口にできる施設の中に市民活動支援施設というのができまして、その会議室が15室ございます。あとは男女共同参画推進施設と位置づけられているところも

6室ございますので、21室新たに会議室が増えていきますから、多分そちらのほうであればかなり取りやすいと思います。

《ふれあい拠点施設の使用料》

意見 それで余りお金も、例えば使用料が余り高いというのも困るんですね。

文化スポーツ部長 それもこれから決めていくのですが、逆に今まで中央公民館を使っていた方々がそちらに移れば部屋が空くということなので、順番が回りますので。多少お金はかかりますけれども、そちらのほうができるということです。公民館のほうを拡張するという考えは今のところないみたいです。

《新ホールの映像機器、映像編集機材の設置》

意見 新ホールができた際に、当然映像機器が入ってくると思うんですが、その映像機器の選定について、過去にいろんなところで業者さん任せにすると古い形のものを入れられてしまう、そういう言い方は悪いかもしれないのですが、対応する市役所のほうでそういうことについて詳しくないと業者任せになってしまって、古い形の物を高く入れられてしまう、そういう例を幾つも見ています。ですからもしそういう機器を選定するような場合は、川越シネクラブみたいに最新の映像機器をよく知っている人間を相談の中に入れてもらってやっていただければ、安くて、なおかついい物を手に入れる方法は、任せてしまうよりはいい物が入ると思います。せっかくシネクラブで活動しているものですから、ぜひお声をかけていただきたいと思います。

もう一つは、さっきの市民活動支援室の話ですが、その中に編集用のコンピューターを入れて、シネクラブの会員みたいな人がアシストをして、市民の方に映像の編集を教えるという活動もできると思うんです。今、ビデオカメラというのを持っている方はたくさんいらっしゃるんですけども、撮った結果を編集する方というのはほとんどいないんですね。それは編集機がない、それからやり方がわからないということがネックになっているわけです。市で例えば3台ぐらい揃えて、編集機というのは1台大体30万円くらいですから、100万円程度でそういうものを揃えて、市民の方が撮ったものを編集したいというときにアシストできる、そういう考え方、活動もあると思います。ちょっと細かい話になると思いますが、以上です。

《新ホールの名称》

意見 話を逆戻してすみませんが、さっきのホールの件で、多目的ホールというのはどういうものなのか、レベル的に見ても夢がないので、それを子どもにも市民にも、他市町村にも、川越にこういう名前の市民ホールができたということで、すべての県民が憧れを抱くような、ぜひ市民の皆さんにすばらしい名前をつけていただいて、命

名するような会館であってほしいなと思います。子どもたちが憧れを持って、ぜひあのステージに立ってみたいなという気持ちになれば、子どもの夢もさらに膨らんでいくのではないかなと思っております。ぜひ、多目的だけはやめていただきたいんですね。

川合市長 ホールの名称の問題ですね。

意見 そうです、ホールの命名です。

《お茶会の会場、生け花展の会場、市民文化祭の周知を早期に》

意見 先ほどからご要望が余りにも多いものでご遠慮申し上げようかなと思いましたが、最初に申された文化祭参加の茶と生け花展でございますが、現在丸広百貨店を拝借して行っております。これは私どもが好んで丸広さんをお借りしているわけではなく、会場がないためにやむを得ず丸広さんをお借りしているわけでございます。

丸広百貨店さんのほうも、景気が悪くなるとちょっともうお貸しできないんですけどというお話が出ます。実は今年も出まして、本当に危うく会場がなくなるようなところまでまいりましたんですけども、お華の先生方、お茶の先生方でちょっと頑張ってお話して、何とか来年1月に、ちょっと日程を変えまして、前倒しいたしまして、1月の中ごろから貸していただけるということになりましたのですが、何年かに1回は周期的にもうお貸しできないんですというお話が出ることは事実なんです。それはお茶会をする会場、華展をする会場が余りにもないということです。

市長さんもお存じかと思いますが、所沢にあります航空公園の中の彩翔亭という茶室をよく借りてお茶会をするのでございますが、何せ市外でございますので、お茶席を持つ先生方も大変、お客様も大変、多分市長さんも招かれて遠距離で大変だと思っております。そういうことが事実でございますので、何とかそういう会場にもお目を向けていただけないかと、いつまでも遠慮していると、私たちはいつになってもこういう目に遭わなければならないと思っておりましたので、思い切って申し上げさせていただきます。そういう事実をご承知いただきたいと思っております。

前に市長さんにもお話をしたことがございますけれども、お茶会の会場はお寺さんがなくはないのですが、非常に高い会場費を払ってやらなくてはなりませんので、そういう点もいろいろお含みおきいただけたらと思っております。木島部長、どうぞお考えのほどよろしく願います。

文化スポーツ部長 ぜひご検討させていただきます。

意見 今、先生がおっしゃったことに少し上乗せなんです、私どもは市民文化祭の

市民席を設けた生け花展、諸流生け花展です。川越茶華道協会と華道連盟と古流協会、それから中央公民館が前は主催をして市民を募集して、前期、後期で12席ずつ、計24席を市民席コーナーとして設けてご一緒にさせていただいていたんです。

本年度もさっき先生がおっしゃったように丸広さんのほうでは、早めに1月の12日から13、14、15、金・土・日・月と4日間今回は借りました。毎年5日間しているのですけれども、4日間を丸広さんと交渉した上でやっと折れていただいたんですね。ですけれどもいまだ、丸広さんの販売促進にお電話しますと、社内では文書が回っておりますと言うだけなんです。いつもですと、茶と生け花展は1月の下旬ですので十分間に合うんですけれども、1月の12日ですともう早めに準備に入らないと皆さんが困るということで交渉しているんです。

以前は、丸広デパートさんは、私どもは長い間、6月に諸流生け花展をしています。6月、それから4月、9月で、お彼岸の季節はお花が高いからといって遠慮させていただいたこともあるんですね。1年の中で、丸広さんの比較的売れない時というんでしょうか、売り上げが落ちる季節というのを丸広さんでも考えていただいて、その時を常に利用させていただいていたんですね。

今回に限っては、毎年のことだから1月の下旬かなと思っていましたところ、さっき先生がおっしゃったように最初は私のところに1月6日はどうですかと言われたんです。1月6日ですと花屋さんはお休みですし、とても無理な話ですということで戻して、今回は遠慮させてくださいと言いましたら、いつがよろしいですかと言われましたので、1月のその1週間後でしたら私たちは何とかしますと言ったら、内定ということで1週間の余裕を置いて1月12日から金・土・日・月と4日間お借りしました。お花の場合は3日間ですと結構花が傷んでくるんですね。2日間にかえるということで、前期の金・土、そして土曜日の夜に生けかえをして、後期の日・月の4日間を一応内定しましょうということで交渉したんですね。

そういう状況で、文化振興課の方にもご心配していただいていたのですけれども、早めに市民のほうにもそういうことをうたっていただいて、文化祭というのを早めに知っていただかないと、応募にも影響すると思うんですね。今までギリギリのことが多かったものですから、早めにお伝えして、丸広の催場を埋められるように早めに、いつも悩んでしまいますので、市民席が埋まらないということが多かったものですから、早めに知りたいということで今交渉しています。

でも、私どもの諸流生け花展はステージとしてはデパートが一番理想的なんですね。会場においでになった方が見てお帰りになれば、そこで文化を発信できるという

のを大変嬉しく思っているんですけども、今の状況ですと少し、内定だけでございますので、何とも言える状況ではないということです。

《ふれあい拠点施設の規模、ふれあい拠点施設の使用料》

意見 今度新しくできる施設は、南公民館のように展示する場所もできるんでしょうか。

文化スポーツ部長 南公民館の機能を持たせますので、同じです。

意見 使用料のことですが、我々が総合園芸展をやる場合はある程度スペースが必要なんですけど、それだけの大きい場所があって、できるんでしょうか。

文化スポーツ部長 ございます。

意見 使用料も結構かかってしまうと思うんですけど、どうでしょうか。

文化スポーツ部長 まさしく今、検討を始めたところです。複合施設でございますので、公民館だとか生涯学習支援施設だとか、男女共同参画施設ということで、複合施設の会議室がいっぱいございますので、その中でそれぞれの施設ごとに料金が違うというもおかしなことですから、その中で今私どもが一番頭を悩めているのは、今まで公民館をお使いの方は減免でただになっております。しかし、全部免除してしまいますと、施設の維持管理もかなり高いものですから、といて余り高く料金を設定しますと、市民の皆さんの使い勝手が悪くなりますので、そこでどのくらいにしたらいいかというので非常に頭を悩ませておまして、できるだけ皆さんが使いやすいような料金設定にはしていきたいなと思っておりますが、そこがちょっと難しいところです。

《国際的な芸術活動に援助を、芸術・文化活動の予算配分に工夫を》

意見 私たちバレエ連盟は、今年からこの文化団体連合会に所属させていただいたんですけども、数年前に市の中でこういう文化芸術の活動をしているようなところはないかということで問い合わせをしたことがあるんですけども、そのときはもう全然、本当に失礼な言い方をするとお役所仕事みたいな感じで、ちゃんとした回答が返ってこないという状況だったのですが、市長さんにかわられてから文化振興課ができて、文化振興課の方はすぐ聞いたことに対して返答をくださるんです。それがOKかどうかは別として、ちゃんとした返事をくださるということに私はすごく感謝しております。ありがとうございます。これからもこのままやっていただければと思っております。

二つほどお願いがあります。私たちバレエの人間というのは、国際的な活動を目指しているんですね。子どもでも留学をしたりとか、あとは毎年スイスのローザンヌでコンクールがありまして、ジュニア、16歳から18歳の才能のある子どもたちを世界中

から集めてスイスのローザンヌでコンクールをやっているんですけども、この間、新聞に出ていたことなんですけれども、川越市にもそのローザンヌで賞を取った人がいるんですね。そういう場合はやはり15日ぐらいはスイスに滞在しなければいけないし、先生方もついていかなきゃいけないので莫大な費用がかかります。できれば、私たちは芸術家でもありますが、教師という面を持っていますので、やはり若い人たち、子どもたちを育てていきたいという、これから先、芸術を背負っていく子どもたちを育てていきたいという気持ちがすごく強いので、できればそういうものに参加できるように、実力のある人たちには奨励金を出していただけないかと思っています。それはバレエだけではなく音楽の方も同じだと思うんですけども、国際的な活躍をしようとしている人に対しては、川越市は援助している市なんだというイメージを持っていただければ、文化都市、芸術都市として名前が通って行って、その志のある方が集まってくるのではないかなと思うんです。

そのお願いと、あと提案は、文化庁のほうではよく、今年はイタリア年とか、今年はフランス年とかいう年があって、イタリア年のときはイタリアからオペラやバレエが来るみたいな、そういう活動をしているんですけども、川越市には文化財がすごく多いので、それを保存するためにもすごく費用がかかって、多分芸術とかにそんなに莫大にお金をかけられないと思うんですね。これは市民の税金でもありますので、ですから例えば今年は音楽年、ことしは舞踊年みたいに、集中的にそこにボンとお金をかけるようなそういうやり方もあるのではないかな。全部に少しずつお金を分配するというのでは、やはり規模の小さいものしか結局できないので、外から人を呼ぶという集客力に欠けるような気がするんです。十分な舞台づくりができるように何とかイヤーみたいにして、ボンとその部門にお金をかけていただくという方法もあるのかなと思いましたので、よろしくをお願いします。

《公共施設の使用時間》

意見 川越市吹奏楽団で先日は総合文化祭でやらせていただきました。

会場のことが大分出ているかと思うんですけども、私が個人的に思っているのは、先日の震災の関係で私たちの演奏会が延期になって、通常ですと日曜の昼間やるわけですが、ところがどうしてもしょうがないということで時期をずらして夜やったんですけども、終演時間が9時半までに出なくてはいけないというのが非常に大変で、公民館ですとか会館の退出時間というのか、たしか川越市内は全部9時半になっているかと思うんですけども、それを30分遅らせた10時退出というのは不可能なんじゃないでしょうか。

昔、一度そういうことを問い合わせたことがあったんですけども、そのときは、全体で決まっているから難しいみたいなことを言われたんですけども、それについてはいかがなものでしょうか。

川合市長 計画停電の節電の関係で終わらせなければならない時間が繰り上がったとかそういうことではなくて、今の9時半までというのを例えば10時までに延ばせないかというご要望ですね。それはちょっと検討させてもらいたいと思うのですが、なかなか難しいのかもしれないですね。

文化スポーツ部長 使う方は年に1回とかですが、職員は毎日いるので、非常に難しいところですね。ただ、やはり使う方が使いやすいような施設にしなければいけないと思いますので、また新しいホールの際に検討させていただきます。

宍戸副市長 施設によっても違いますけれども、ただ、やっぱり時間には厳しいです。例えば9時半でも15分前に出てくれとか、それはどこの会場でもやっぱり人の関係で、大変申しわけないのですが、そういうふうになっています。

あと、先ほどからお茶やお華の会場の話をされましたが、私もちょっとだけ喜多院で大茶盛のお手伝いをしたりするものですから少しだけやっているんで、まさに今日はそちらに座って市長に物を言いたい立場でもありましたが、幸か不幸か私はこちらに座っておりますので、今の時間も含めて会場もかなり厳しい、なかなかこれは厳しゅうございます。ある程度いろいろな施設を融通し合いながら何とかお願いしたい。

あと、先ほどの国際化の話ですが、最近は県のほうでも、今まで留学生もたしか10人ぐらいしかいなかったのが、今年から高校生を含めて260人ぐらい海外に送り出す事業を今やっています。ただし、それはまだ芸術の面には向いていません。ここしばらくは、まだ日本の文化レベルはそこまではいっておりません。ただ、そういう方面で、外国で活躍できる人を育てようという芽は出ておりますので、大変川越市だけでは難しいのですが、そういう県のほうも動かしてそういう方向に持っていければと、会場につきましても、すみませんがもうちょっと我慢をいただきたいというのが現状です。

《茶室の設置》

意見 ちなみに喜多院さんは県庁の大茶盛にしか会場を貸さないんですよ。本当にそういうこともあるんです。県庁だけです。

宍戸副市長 さようでございます。そのとおりです。文化財でございますので火を使ってはいけないと、それは何とか炭を使わないでやっております。大きいお茶椀でやるというのは、たしか奈良の西大寺さんと川越の喜多院さんだけでございますので、

それに免じてお許しくださいませ。申しわけありません。

意見 本当にそういうわけで狭き門なんです、私どもは。

意見 新しい会館に茶室をつくっちゃおうよ。

意見 和室をつくっていただけるような、だめなような。

文化スポーツ部長 和室はございます。

意見 でもこれから茶室は必要ですよ。

意見 はい、もうどこのホールにでもありますから。

文化スポーツ部長 ありますね。先ほどの舞台の話ですけれども10間です。10間というのは狭いですか、18メートルです。奥行きも10間です。

《新ホールの舞台》

意見 催し物によってせり出しができるように、3段階ぐらいにできるといいんですよ。

文化スポーツ部長 前のところがオーケストラピットで出てくるみたいです。

意見 ピットは沈むので、下ですね。

意見 バレエのオーケストラピットを使うホールと、音楽ホールは丸っきり別なものです。はっきり言わせていただくと。

意見 後ろの反響板がどんどん下がる形にしないと、前が出ればいいというものではないんですよ。だから前のラインは同じで、後ろにどんどん入れていく、オーケストラピットは上がったたり下がったりすればいいんですよ。

意見 オペラをやる場合はステージの倍ぐらい後ろがほしいんです。これは大変なんですよ。

市長秘書 多目的ホールそのものが悪評ですけれども、ただ、一般に行政がやる場合には、芝居なら芝居に絞ってホールをつくるというのは限界があるわけです。今おっしゃられたように、芝居だって歌舞伎とか現代劇とかによってバックヤードの広さというのは全然違うのです。おまけにオーケストラピットもほしいし、合唱でそれだけの人数を乗せたい、先ほどもあったように映像機器もほしいということになると、やっぱり芝居の関係者から見ると不満が出る、音楽の関係者からも不満が出る、要するにそのものにとって完璧なホールというのができない結果になっていくことが指摘されているところです。

今回の場合も多目的ホールというコンセプトで進めていますので、おのずからやっぱり限界は出てくるのではないかと思います。もう一度皆さんと設計の進行状況について、文化スポーツ部のほうと確認できるような時間を持ちますので、その中で最

大限の歩み寄りというか、できる範囲のことをさせていただくということしかとりあえず今夜のところはないのかなというふうに聞いていました。

意見 その多目的ホールですが、例えば市長さんのあいさつとか、そういうのは音楽ホールでもできるんですよね。だから多目的ホールというのは、どういうことをイメージして多目的ホールとしているのかと思うんです。

《美術品の展示スペース、市役所の掲示版》

意見 多目的ホールというのは、先ほどから舞台については、つくるのはいいけれども、舞台という部分でいろいろな要望があると思いますけれども、例えば絵を飾ったり写真を飾ったりというその壁面、そういうものをひっくるめて多目的ホールなのか、そういう部分というのも今度できるものに計画しているとすれば、もっと細かいことを聞いてほしいんです。

一例を挙げるなら、例えば蔵里にギャラリーがあるんですが、要するに壁面に傷をつけてはいかぬということで、30センチほど前に吊り天があるんですよ。その吊り天に吊ったら絵がこんなになっちゃうので、後ろにダンボールを添えて真っ直ぐにしているという現状なんです。

それからもう一つ、ついでですから申し上げますが、美術館ができて8年が経ちましたけれども、今日も美術館に行ったけれども、一番いいホール、一番いい市民ギャラリーが暗いです、一番いいところが。そういうところももうちょっと、我々にも責任があるんだけど、一つはもうちょっと、天井が高いのはいいいんだけど、高すぎて簡単に飾れないわけです。そのため脚立も僕が提案してつくってもらったんだけど、それが普通の脚立だったので上に乗って仕事がしにくい、危ないんです。上から落ちたら人身事故ですよ。だから僕が提案してそれはつくってもらいました、開館して間もないころ。

今の現実問題は展示する方法だと僕は美術館に言っているんです。それでいろんな人に聞くと、天井が高いのは結構だけれども、高いところへの展示を手伝うボランティアとか、そういう補助具のようなものをつくるとか、照明器具も一回ごと取る、要するに傷がつくので、だからあんなに高いんだから、真っ白なひもをつけておけばいいと思うんですよ。そういう配慮はいかがですかという提案は何回もしました。現実にはノーです。

それからもう一つ、最初におっしゃられた情報の発信ということですが、もちろん美術館から発信するのはギャラリーとか、私設の美術館が川越の中にはいっぱいありますし、公民館、市民会館等いろいろあります。まず一つを挙げるならば、市役所の

掲示板がどこにあると思いますか、トイレの脇にあるんです。そこにいろいろな展覧会のポスターが貼られているのですが、見る人はいません。どういうふうに僕が提案したかという、スタンドでいいから会期中に市展をやっていると、あるいは企画展をやっていると、そういうことを掲示してくださいと。市役所に来られる多くの市民や、また職員の人たちが見に行ってもよい、それは各出先機関を含めてですが、だからそういうものをわかりやすいところに掲示して、そういう人たちにも時間があつたら見てほしいんです。そういうことをもうちょっとやってほしいなと思いますけれども、よろしくをお願いします。

《初雁球場、市民会館の跡地、まつり会館の無料開放》

意見 二つの質問と、受け入れていただけるかどうかはちょっとわかりませんが提案を一つ申し上げます。

まず質問として、初雁球場はいつ動くのか、移設ということと、今度新しいのができるとこの市民会館はなくなるんでしょうけれども、この跡地利用はどういうふうにするのか、やまぶき会館だけが残るのか、確認したいと思います。

それと提案としては、太っ腹の川越市ですから、無料開放じゃないですけども、山車会館があれだけ中に入ってしまったとかなかなか見られないというか、一般開放してもいいんじゃないか。外から見ても、もう山車は動かないわけですから、展示というか中に置いてあるだけですから、いつだれが見てもおかしくないような気がするので、回りを全部ガラス張りならガラス張りでもいいような気がします。管理をするのも大変でしょうけれども、ぐるっと回れるような回廊でもつくっていただいて、周りに少し展示ができるようなところをつくったり、何かそのようなものが利用できれば、あの狭い廊下を入れていくよりはいいような気がしますし、もうそろそろあそこは無料開放してもいいかなと思いますので、その三点について質問と提案をさせていただきます。

川合市長 初雁球場については、本当は昨年度中ぐらいに方針を決めたいと思っていたのですが、昨年8月ぐらいに、今あるところを改修して通常の球場ぐらいの広さにする方法で10億円かからないぐらいのお金でできそうだという話があったので、だったら今のところを改修して拡張するような方向でいいのかなと思ってたのだけれども、よくよく試算してみたら、拡張するだけで28億円ぐらいかかりますという話になってしまいまして、さて、28億円かけるのだったら、新しいところにもうちょっとお金を出して、サブ球場というものもついた施設をつくるような方向のほうがいいのではないかと、そういう考えにもなったりして、ということはまだ決まってない、決

めてないのです。

ただ、いずれにしてもあそこは球場としては規格として若干狭いので、高校野球の予選などもほとんどやってくれなくなってしまったということもあって、早急にどこかに新しいものをつくるか、あそこにお金をかけて改修するか、それを決めなければというふうに考えている、今はまだそういう段階です。

それから、この市民会館については、西口のふれあい拠点施設の中にホールができたら、少なくともやまぶき会館は残して、こちらは取り壊すという予定です。取り壊した跡をどうするのか、それはまだ全く未定の状況です。

あと、まつり会館を今後無料にしたらどうかというご提案については、ご提案として検討させていただきます。

《ふれあい拠点施設の運営方法、ふれあい拠点施設の概要、ふれあい拠点施設の使用料》
意見 小品盆栽倶楽部の書記をやっております。基本的なことについてお話をさせていただきます。

市民会館がなくなるというのは初耳なんです、情報のとり方が悪かったのか、そんなことはどうでもいいんですが、私のほうは南公民館を使ってやっています。現在は元の場所が更地になっておりまして、そこに今聞いていますと多目的ホールができるらしいということは私もわかったのですが、基本的には、先ほど県という言葉も出ましたが、川越市そのものがやるんですか、それとも企画から運営は第三セクターを使っておやりになる予定なんです。それから建屋は一つなんです、一つの建屋の中に全部入れてしまうんですか、その基本的な大きな話だけでも聞かせてもらえればありがたいです。

川合市長 西口のその場所については、県が持っている土地と市が持っている土地の両方が混在している状態で、その全体を使って、もともとはソニックシティみたいなビルをつくるという話だったのが、20年かかっているうちにだんだん縮小してきて、今具体化している予定としては、県の施設と市の施設と民間の施設の3つをつくるという考えですね。県は、今、県の地方庁舎に入っているものをそこに移す、市は、多目的ホールとか南公民館のかわりになるようなものをつくる、民間は、まだ形は決まってないのですが、にぎわいをつくり出すような施設をつくるというそういう予定です。

市の建物の運営、ホール等の運営というものは、今の段階では指定管理者という形で、民間の人にお任せするという考えで進めています。ですから市が直営するとか、第三セクターをつくってやるということではなくて、民間にやってもらうという考え

で今進めておるところです。

意見 市の職員の方はそこにはだれもいなくなってしまうということですか。

文化スポーツ部長 それについては今、施設全体は公民館と女性会館の機能と市民活動支援施設ということで複合施設になりますので、それをどういうふうにやったら一番効率的かということを考えております。施設全体の管理面は指定管理者に任せてしまいましたが、ただ、いろいろな企画については、例えば本庁で企画をつくって公民館でこうやるとか、女性会館でこうやるとか、どういう講座をやるのかということも考えられますので、まだ職員をはっきり置くとは決まっていない状況でございます。そこを今年1年間かけて、部会をつくって今検討を始めたところですよ。

例えば先ほど料金のことも言いましたけれども、公民館はほとんどの方が減免されて無料ですが、今度は有料の施設ができますので、市民活動支援施設というのは基本的に減免をしないつもりでいますから、そうすると例えば同じ60平米の会議室があつて、片や公民館の会議室が無料で、片や市民活動施設が有料で3000円払うということになりますと、全部公民館のほうに行ってしまうですね。そういうことがないように施設の中で統一的な形での料金体系をつくらなければいけないので、複合施設として難しい部分がございます。

意見 そうするとどこの部屋とか場所を使ってもお金はお支払いするという形になるのでしょうか。

文化スポーツ部長 基本的にはそういうふう考えています。ただ、余りご負担をかけられない面もございますので。

《皆が誇れる川越市》

意見 最後に一つ申し上げたいのは、詩人と川越市内を歩いたときにこういう感想をいただきました。やはり皆さんが誇れるこの川越市として心の中に入れておいたらよろしいのではないかなと思ひまして、お話をさせていただきます。

その詩人は、小江戸という愛称が物語るように、江戸とともに栄え、明治に入つては一時県都でもあつたこの街は、まだ戦国時代以前から関東の要の一つとして重要な役割を果たしてきた歴史と文化の宝庫である。常時、私たちの心のふるさとの街の一つとも言える誇らしい街です。蔵造りの町並みを歩くと、夕映えに影を落とすお寺の裏道を彷徨するとき、格子戸一つ、曲がり角一つにも言葉では言い表せない至福の時の流れを感じますということで、私たちの川越市を改めて見直すような言葉をいただきましたので、あえて申し上げさせていただきます。

川合市長 本日は貴重なお時間をいただきまして、いろいろご提案やご要望をちょう

だいました。できるだけ皆様方のご要望に対応したいというふうに考えておりますが、なかなか財政の面で厳しいということもありまして、難しい事柄もございます。すぐに対応できることはできるだけ迅速に対応していきたいと考えておりますが、特に皆様方のご意見を伺っていると、ふれあい拠点施設にできる施設についてのご要望がかなり多いというふうに伺いました。その点については、具体的な話を担当のほうとしていただけたらと考える次第でございます。

なかなか、財政の厳しい中で文化、スポーツの振興を図っていくというのも大変な面はありますけれども、工夫をしながら文化、スポーツの振興のための事業をやっていきたいと考えておりますので、今後とも皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。きょうは本当にありがとうございました。

《どのように若者を文化の中に取り込んでいくか、川越のオペラ》

意見 最後に、文化団体連合会の会長として厚く御礼申し上げます。今までこういう機会がなかなかなかったものですから、こういう機会を持てたことは大きな進歩ではないかと思えます。本当に川合市長さんには厚く御礼申し上げたいというふうに思えます。

これからの我々の課題は、若者について、今の若者をどうやって文化の中に取り込んでいくかということが一つ、それからこれは私の考えなんですけど、90周年のときは川越のオペラをぜひお願いしたいと、市長さんにそのお金を出していただいて、一般の市民たちがオペラなり演劇なりが発表できるといいかなというふうに思っています。これも大きな文化の発展になるんじゃないかと思っています。本当にこの機会を設けていただいたことに厚く御礼申し上げたいと思えます。また来年もよろしくお願いしたいと思います。どうもありがとうございました。